

平成28年度第1回 羽咋市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議
各グループ（各部会）における質疑及び意見交換等の記録

平成28年8月31日

部会ごとの記録

【雇用創出グループ】基本目標1

①『自然栽培』の生産・普及と『輸出産業化』

総合評価：◎取組内容の深化・発展

質疑応答

Q1：輸出産業化とは何かやっているのか。

A1：東京オリンピックに農産物を出す計画があり、予算計上をしている。

Q2：季刊誌掲載だけでなく、首都圏に行ってPRはしないのか。

A2：8月2日～4日に東京ビッグサイトで自然栽培をPRしてきた。また、3月には「食べもので元気になるシンポジウム」を行い、普及・PRを行った。また、アンテナショップも設置し、関東羽咋会でのPRも行っている。

Q3：10人の中で、季刊誌を見て就農した方は何人いるのか。

A3：相談はあったが、実際に就農した人はゼロ。

意見1：農業は厳しい。販売を強化すべき。野菜農家は困っているはず。

②「ジビエ」を素材とした戦略産品等商品の開発・販売

総合評価：○取組内容の継続

質疑応答

Q1：商品開発は？

A1：カレー、ベーコンなどの加工品を考えている。

Q2：白山市との差別化は？

A2：味だけでなく取り組み自体をアピールして価格につなげていく。

Q3：イノシシのさばける見込みは？

A3：8月までに100頭（400kg～500kg）獲れているが、獲れすぎて販売にいけない状態が続いている。

Q4：平成28年度売上額500万円は達成可能な数字か？

A4：十分に見込みはある。

意見1：産業としてどれぐらい規模が必要なのか見えない。

③若者の新規就農推進のための支援

総合評価：△取組内容の見直し

質疑応答

Q1：法人の業務は？

A1：新規就農者の受入、耕作放棄地の開墾、道の駅への安定供給

Q2：移住についてどれくらいの相談件数があるのか？

A2：27件中14件が農業に関するもの

意見1：都市部では就農を目指したい方がいるのではないかと。

意見2：3年目までが厳しい。アフターフォローが必要なのでは。県やJAさんと一緒にやっていくべき。

意見3：農業をやめたい人と継承していくような人とのマッチングが必要。

意見4：いろんな広い視野でフォロー策を充実させてほしい。

④『道の駅のと千里浜』の整備・推進

総合評価：○取組の継続

質疑応答

意見1：事務局の×評価はおかしいのでは。まだ事業が始まっていない。

意見2：事業内容の継続しかない。

⑤企業立地・誘致の促進

総合評価：○取組内容の継続

質疑応答

Q1：用地となる場所はあるのか？

A1：どの場所なら効果的なのか、いま調べているところ。

Q2：用地確保の見込みがあるのか、空きの工場や遊休している場所もあるのではないかと？

A2：既存の空いているものを活用していく。

意見1：調べているものがないと評価ができない。

⑥新規起業家への支援

総合評価：○取組の継続

質疑応答

Q1：相談件数は？

A1：15件。相談は毎年ある。上向き傾向にある。

Q2：起業後の支援は？

A2：専門家派遣を行っている。商工会への加盟を義務付け。

意見1：新規事業の支援を行うことで新規起業家が増えるのでは。

【移住・交流グループ】基本目標2

①移住・定住に関する総合相談窓口の設置

総合評価：◎取組内容の深化・発展

質疑応答

Q1：移住関係のテレビ番組（例：イチから住）に取り上げてもらうことはできないのか？

A1：テレビ局の目に留まるようもっと羽咋市をPRし認知度を上げていくところから。

いま番組に取り上げられているのは、以前から移住PRを行っており、かつテレビ的に映して面白いところ。

意見1：昨年度いろいろ取り組んでいる。他の施策ともからんでくるので、これについては特にない。このまま継続でよい。

意見2：島根では母子家庭限定の移住補助を行っている。羽咋市も魅力のある移住施策を。

意見3：自然栽培に力を入れているのなら、それで生活できるよう支援が必要。

意見4：自然栽培の付加価値についての認知度をあげないと買ってもらえない。

意見5：子育ての部分等でも支援を。

意見6：全国的に認知度を高めることが必要。

②ふるさと応援団会員数の拡大

総合評価：◎取組内容の深化・発展

質疑応答

意見1：県外でも羽咋を。これからも羽咋市PRに協力。

意見2：随時情報を応援団に発信、ふるさと納税や移住等でいろいろご協力いただく。

意見3：関東羽咋会は会のHPやFB等で発信しているが、中京、関西羽咋会は個別に発信しているため、関東羽咋会同様にお手伝いする必要がある。

意見4：親が羽咋在住で介護が必要な方の県外に住む子が、ふるさと納税で羽咋市を応援、ということも考えられる。

③羽咋駅周辺の整備

総合評価：○取組内容の継続

質疑応答

意見1：乗降客数を増加させる策はけっこう難しいのでは

意見2：整備にお金と手間をかけるくらいなら、他の所に回した方がいいのでは。道の駅もできることだし。

意見3：ホテル等利用客数のうち駅利用者はまだ多い。

意見4：花嫁のれんでのPRにも力を入れている。

意見5：羽咋市の次のシーンのために（次につなげる）

意見6：H28年度、トイレ・バスターミナル整備

意見7：トイレ等の改修はまちがいなくしなければならない。

意見8：継続と見直しの間ぐらい。

④合宿・修学旅行の積極的誘致

総合評価：△取組内容の見直し

質疑応答

Q1：今羽咋市内にはどれだけ宿泊できる場所があるのか？

A1：データには青少年交流の家（年間7万人利用）は含んでいない

Q2：合宿、大学合宿、サークル等での利用のPRはどうやっているのか。

A2：旅行会社に行っている。

平成27年度は30人以上泊というしぼりがあった（一泊500円助成）が、平成28年度は制度拡充し、

100人以上の施設 30人泊 一泊1000円

100人未満の施設 15人泊 一泊1000円 となった。

意見1：七尾市のパンフレットでは合宿が盛んに行われていることをPR

意見2：旅館とフィールドのつり合い。大規模受入ができる所が限られている。

⑤観光資源の発掘、磨き上げの促進

総合評価：○取組内容の継続

質疑応答

Q1：神子原ドラマの効果は？

A1：能越道路開通の影響で神子の里は減

Q2：観光地としてはなぎさドライブウェイと気多大社が人気。それ以外は？

A2：今のところ2強。

Q3：この2件は知名度が十分ある。他に力を入れる必要は？

A3：妙成寺は改修等、国宝指定に向けがんばっている。

意見1：バイクイベント等、天候に左右されやすい観光

意見2：花嫁のれんではサンダーくんが人気（羽咋駅停車は5～8分）

意見3：この2件をさらにPR。他のところはそれに付属のようについてくる。

意見4：他にも新しい催しもの等を。

意見5：羽咋の読み方がわからない人が多い。「羽喰」の字の方がインパクトがある。

ロゴ等で使えないか？

【結婚・出産・子育てグループ】基本目標3

①出会いの場の創出、支援

総合評価：◎取組内容の深化・発展

質疑応答

Q1：若い世代に気軽に集まれる場を開催すれば出会いにつながるには？

A1：市補助金制度があるので活用する。

Q2：飲食店にもイベントをする補助金は出るのか？

A2：出る。

- 意見 1：独身の男女を幅広くする
- 意見 2：婚活イベントの参加者が少ない。「若者集まれ」としたほうがよい。
- 意見 3：市青協イベントリピーターが多い。
- 意見 4：現事業内容では厳しい。
- 意見 5：参加者集めは FB、広報、口コミ。市内外から参加があった。
- 意見 6：婚活、出会いと出すと女性が身構える。「若者集まれ」としたほうがよい。
- 意見 7：事業内容が婚活に合っていれば補助を出してもらえば。
- 意見 8：長い目で見る必要がある！結婚はすぐに結果は出ない。
- 意見 9：民宿で少人数だが婚活イベントをした。結婚目的ではないが、成婚し現在幸せに生活している。
- 意見 10：若い世代にはまだ結婚意識がない。結婚を表に出さず同窓会的にしてもよいのでは？
- 意見 11：知名度の高い気多大社を縁結びにつなげたのはよい。

②子どもに係る医療費の軽減

総合評価：◎取組内容の深化・発展

質疑応答

Q1：実績において、他市町村のデータも見なかった。

A1：サービスがそれぞれのため比較するのは難しいし、羽咋市は医療費サービスについては高い方だと思う。

意見 1：予防接種は早く医療費助成にとり入れてほしい。

意見 2：医療費は高いので、今後は予防について取り組めるように考えてほしい。

意見 3：子供の健康予防を含めて考えてほしい。

③家庭保育支援の充実

総合評価：◎取組内容の深化・発展

質疑応答

意見 1：市民であれば、すぐ見てあげるよ、と言ってもらえるような制度

意見 2：4か月健診やプレパパ、プレママで周知する。

意見 3：子育て経験者やおじいちゃん、おばあちゃんが提供会員になれるようもっと周知する。

意見 4：ライン等で連絡する。使いたいときに見えるところに貼る。

意見 5：保育する場合、保育が初めての人は大丈夫なのか？

意見 6：地域（エリア）を決めて保育してもよいのでは。

意見 7：おじいちゃん、おばあちゃんは子育てに自信がない。

意見 8：ファミサポの看板を作ったらよい。目で見えるし、近くに誰がいるとわかって安心する。

意見 9：安心して使えるので利用が増えるとよい。

④保育ニーズに対応した保育所運営

総合評価：○取組内容の継続

質疑応答

意見1：とても便利

意見2：延長保育は19時までなので、それ以降はファミサポへ。

意見3：なくす必要はない。当然である。

⑤キャリア教育の推進

総合評価：△取組内容の見直し

質疑応答

意見1：受け入れる方も負担あり→バックアップ体制されてない。

意見2：一か所だとさみしい。

意見3：保護者にとって魅力があるのか？それがあるから羽咋市に住もうと思うか？

意見4：子供たちは部活が忙しい。

意見5：市の企業をわくワークを通して体験できるのはよい。地域の人とのふれあい。

意見6：地域学習はよいと思う。

意見7：わくワークだけでなくもっと幅広く事業を考えてほしい。

意見8：事業内容を再度見直してほしい、キャリアアップではない。

【地域づくりグループ】基本目標4

①住宅取得の支援制度の拡充

総合評価：◎取組内容の深化・発展

質疑応答

Q1：今後増える見込み、将来設計は？

A1：状況に応じて手厚く改正している。

Q2：奨励金により移住決定した人はいるか？

A2：つかみづらい。奨励金が決め手とまではいかない。選択候補に挙げた際の後押しにはなっている。

Q3：他の市町と比較し、手厚い制度となっているか？

A3：羽咋市は転入者には特に手厚い制度となっている。

補足1：三世代該当なし。※三世代は同居・近居 OK

②空き家・空き地の活用促進

総合評価：◎取組内容の深化・発展

質疑応答

Q1：実績は12人それとも12件？

A1：9件で12人

Q2：所有者不明の場合の対応は？

A2：利活用できそうな物件で所有者なしという物件は少ない。所有者がいない物件は老朽化している。

Q3：バンクに登録するメリットは？

A3：いろいろな助成が受けられる。

意見1：メリットを含めさらなるPRを。

意見2：目標値を下回っているから評価△なのか？

意見3：今後も空き家は増える。今後も取り組んでほしい。

補足1：空き家は多いが提供してくれる空き家が少ない。

補足2：バンクの登録につなげることが難しい。一時帰宅などで使用する方もいる。アンケート等で対応、PRを行っている。

補足3：良い物件は不動産屋が持っている。協定を結んではいる。

③認知症対策の充実

総合評価：◎取組内容の深化・発展

質疑応答

Q1：話を聞くだけでなく実践できる場がほしい。

A1：スキルアップ講座を設けている。

Q2：認知症サポーターを認知症の方がいる家に派遣する予定はないか？

A2：現行は介護保険制度で対応しているが、今後そのようなことも検討していく。

Q3：認知症カフェの状況は？

A3：市内では2カ所。認知症カフェという名前ではやっていない。大町では寺子屋カフェという名前。

意見1：認知症サポーター講座は参加者が増えている。自分も受けた。

意見2：津幡町の徘徊対策など、羽咋市でも取り入れるべき。

意見3：認知症の将来増加に向けた対策が必要。

意見4：サポーターが現場で活動できる場面がほしい。

④健康でアクティブな生活に実現

総合評価：◎取組内容の深化・発展

質疑応答

Q1：高齢者サロンは含まれているのか？

A1：含まれていない。

意見 1：筋トレは普及してきている。50 代後半の方から高齢の方まで幅広く参加している。ただ、地域ごとに温度差があるので、今後はどの地域でも参加者が多くなるとよい。

意見 2：筋トレは 70、80 代から突然始めるのは難しい。60 代など早いうちから始めてもらえるようにしたらいいと思う。

意見 3：はつらつ体操は新しいので、さらに普及して行ってほしい。

5. 地域循環型交通手段の確保

総合評価：◎取組内容の深化・発展

質疑応答

Q1：市民や乗客からの要望は？

A1：コースが通っていない地区の方から、自分のたちの地区にも通ってほしいという要望はある。また、ユーフォリア千里浜の開館時間と合わないという苦情もある。基本は通院に使えるような時間帯や主要施設を通るように組んだコースだが、道の駅が開業したらコースを見直す予定。

Q2：バスの台数を増やすのは？

A2：費用対効果的に難しい。スカスカのコースもある。

高山教授 Q1：タクシーの初乗り分だけ助成するというのは？

A1：ほかの取組事項にある。要支援の方には通院にタクシー券を利用してもらっている。

高山教授：今はこれでよくても、もっと先（10 年後）を見据えていかなければならない。羽咋市の高齢者は今はまだマイノリティーだが、将来的にはマジョリティーとなり、声が大きくなり、さらに充実した高齢者サービスが必要となってくる。

⑥自然エネルギー利活用の推進

意見 1：今後も自然エネルギーへの関心・需要は高まる。予算確保が必要。

⑦町会や市民団体への支援充実

意見 1：婦人会が存続困難、復活は難しい。町会の中に婦人部として残っているところもあれば、ないところもある。

意見 2：青年団もなり手がいなくて減ってきている。

意見 3：町会として上だけがつながっているが、羽咋市民として横のつながり（地域の連携）がなくなっている。

意見 4：町会における各世代、組織にも支援をしてほしい。

補足 1：地域自治振興奨励金の交付は、川の掃除やごみステーションの清掃、花壇の整備等、市役所からああしてこうして指示したのではなく、町会が自主的に行う活動への交付。

補足 2 : 行政としては押し付けはできない。各町の状況と合わせて町と行政が共に考えていくことが必要。